

## 宗派の支援活動



本堂内の片付け



瓦礫撤去



救援物資を熊本教区へ搬送

真宗大谷派(東本願寺)熊本ボランティアセンター(KVC)を開設しています。復興に向けて、全国の皆様のご支援とご協力をお待ちしております。

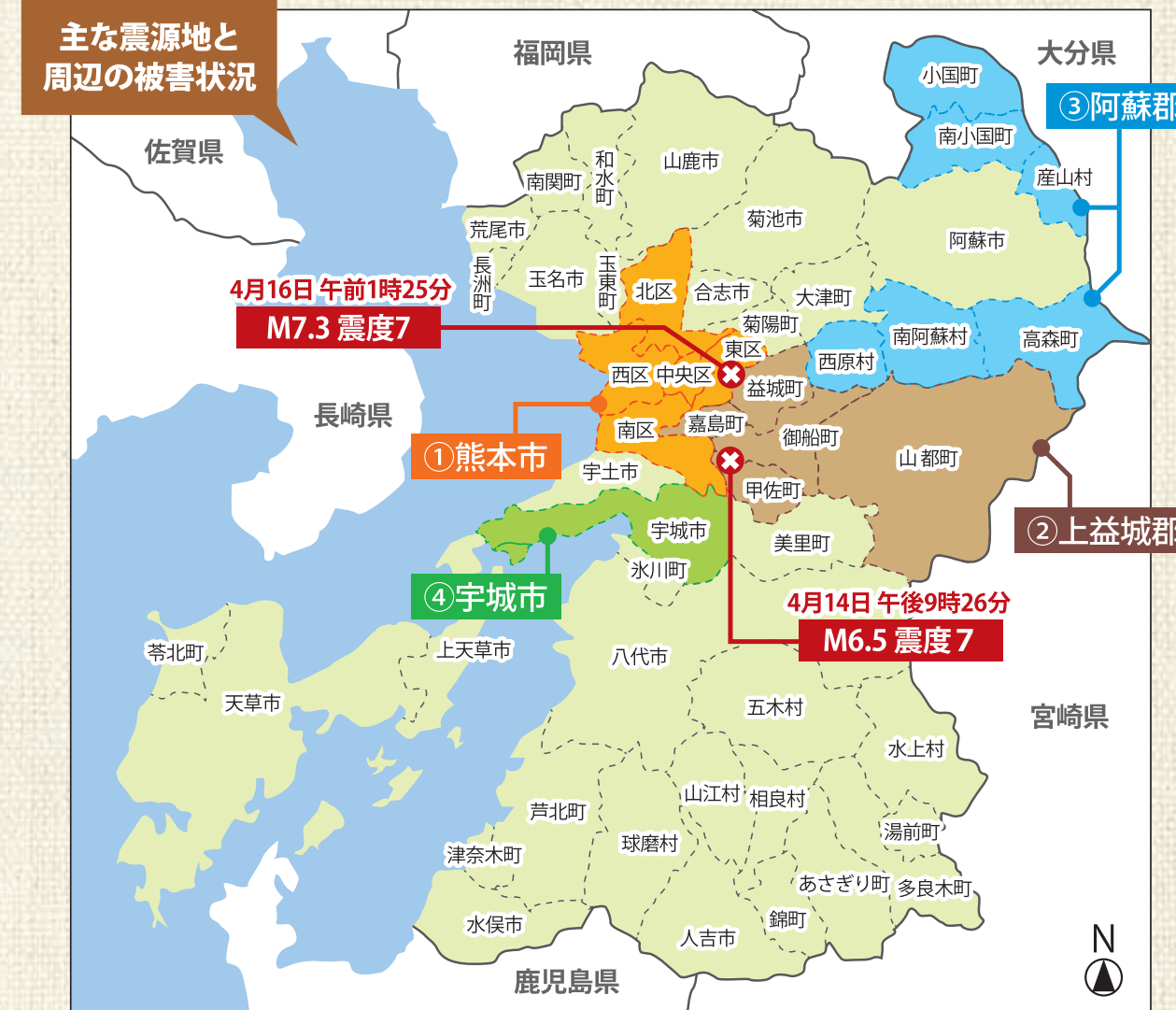
### 概要

- 拠点名称** 真宗大谷派(東本願寺)熊本ボランティアセンター ※略称「KVC」
- 開設場所** 東本願寺熊本会館 (熊本市中央区呉服町2丁目5番地) ※熊本駅から車で5分
- 連絡先**
  - TEL 080-1416-0621 (専用電話)
  - 096-324-0608 (教務所)
  - FAX 096-324-0683 (教務所兼用)
  - Mail higashihonganji.kvc@docomo.ne.jp (専用アドレス)
  - kumamoto@higashihonganji.or.jp (教務所兼用)
  - Facebook 「真宗大谷派熊本ボランティアセンター KVC」で各種情報を発信していますのでご覧ください。

# 2016年 4月14日・16日 熊本地震発生

## 被害状況報告 最大震度7を記録

今年4月14日及び16日に熊本県で発生した「熊本地震」では、その後も震度5を超える余震が続き、熊本県をはじめ九州の広域にわたり大きな被害をもたらしました。周辺の寺院でも、建物の損壊や地盤の崩れなど様々な被害を受けました。



※写真掲載の寺院が所在する地域を色別しています。なお、写真を掲載した寺院以外にも、熊本・日豊・久留米教区の広範にわたり、被害は及んでいます。

## 熊本教務所本堂の被害

今回の地震で多大な被害を受けた熊本教務所本堂の緊急応急措置工事を行いました。



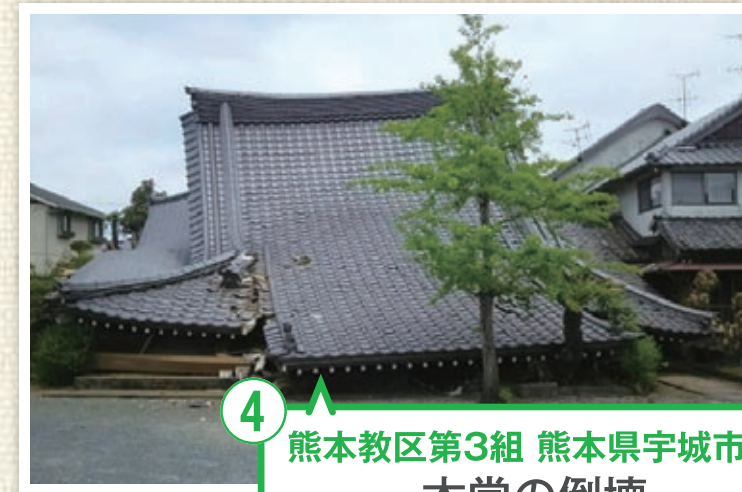
本堂内部の要所をワイヤーで補強



熊本教区第1組 熊本県 上益城郡内 本堂の傾き



熊本教区第6組 熊本県 阿蘇郡内 強い揺れによる 建物のズレ



熊本教区第3組 熊本県宇城市内 本堂の倒壊



熊本教区第3組 熊本県熊本市内 山門の倒壊



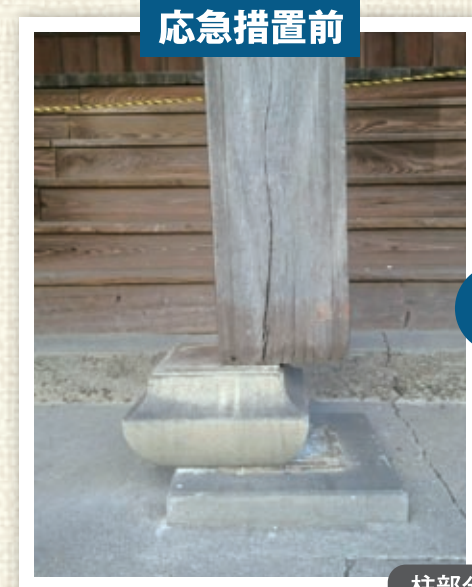
応急措置前

4月16日 地震発生直後

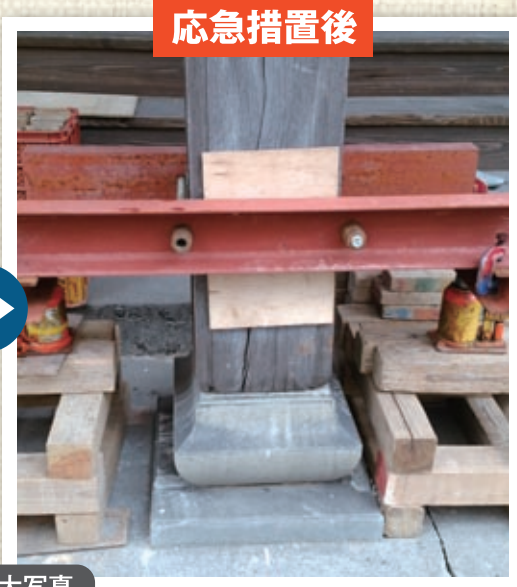


応急措置後

歪みにより礎石から外れた本堂向拝柱の応急措置



応急措置前



応急措置後

柱部分拡大写真

# 熊本地震救援金 についてのお願い

真宗大谷派では、熊本地震で被害に遭われた方々へ継続した支援を行っています。皆様方のあたたかいご支援に厚く御礼申し上げますとともに引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

**救援金口座** <郵便振替口座> **01010-0-2608**  
<加入者名> **真宗大谷派宗務所財務部**

振込用紙の通信欄に「熊本地震」と明記くださるようお願いいたします。お寄せいただいた救援金は「熊本地震」の被災地の復興を目的として使用いたします。

# 災害救援本部通信

「熊本地震特集号」

No.20

発行日：2016年11月1日  
発行所：真宗大谷派宗務所 (組織部)  
発行人：災害救援本部長 望月慶子



# 「平成28年(2016年)熊本地震」発災から現在に至るまでの動き

日付	曜日	時間	「熊本地震」時系列・公的機関の動き <small>※公的機関の動きは、気象庁・消防庁・熊本県・熊本市などの発表情報</small>	宗派の動き
4月14日	木	21:26	熊本地震発生 震源地:熊本県熊本地方/マグニチュード:6.5(暫定値) 最大震度:7/震源の深さ:11km(暫定値) 気象庁発表では、九州地方で震度7を記録したのは初めて 熊本市災害対策本部設置 熊本県知事 自衛隊へ災害派遣要請	●第1回災害救援本部会議開催(宗務所) ●熊本教務所に現地災害救援本部を設置し、情報収集開始  ※災害救援本部会議(宗務所) 4月14日地震発生直後から 6月24日までに全13回開催
4月15日	金		気象庁はこの地震を「平成28年(2016年)熊本地震」と命名(東日本大震災以来の大規模災害への名称決定) 県内約500カ所に一時計約4万4400人が避難 熊本県義援金の募集を開始	●日豊・久留米・長崎・鹿児島各教務所より熊本教務所に向けて物資搬送出発 ●第1次職員派遣 宗務所から被災地へ(5名) ●境内各所に救援金募箱設置  ※宗務所職員派遣 4月15日から7月1日までの間、計47名を派遣
4月16日	土	1:25	熊本地震発生(本震) 震源地:熊本県熊本地方/マグニチュード:7.3(暫定値) 最大震度:7/震源の深さ:12km(暫定値) 気象庁発表:午前1時25分頃の震度7(M7.3)を観測した地震が、14日夜から熊本地方で起きている一連の地震の「本震」であることを発表	【熊本教区】 ●被害の大きい熊本教区第1.3.6組へ巡回御見舞 【日豊教区】 ●日豊教区直入組・玖珠組・大分組(由布市内)へ巡回御見舞 ●教区会参事会、教区門徒会常任委員会を開催し、地震への対応と4月19日から23日の御遠忌法要厳修を決定
4月18日	月			●救援金口座開設
4月19日	火		熊本市災害ボランティアセンターの設置及び募集発表【熊本市】(4月22日募集開始)	【熊本教区】 ●第1回現地災害救援本部会議開催(熊本教務所) ※望月参務が出向し、熊本教区に対して500万円の災害見舞金を竹下教区会議長へ手交
4月23日	土		地震により在住住居が全半壊する被害を被った被災者へ向けて、無償で入居出来る熊本市市営住宅の入居申し込みが開始【熊本市】	【日豊教区】 ●日豊教区・四日市別院宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要に際し、里雄宗務総長より日豊教区に対して100万円の災害見舞金を村上教区会議長へ手交。翌24日、熊本教区の被災地御見舞及び視察を行う。
4月25日	月		閣議において「激甚災害」に指定 4月26日 公布・施行	【熊本教区】 ●熊本教務所を窓口としてボランティア募集を開始(宿泊場所として九州大谷短期大学学寮の一部を6月末まで提供を受ける)
4月28日	木		特定非常災害特別措置法に基づき、熊本地震による災害を「特定非常災害」に指定することを決定(阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災に続き4例目)	
5月18日	水			【熊本教区】 ●教区会・教区門徒会(臨時会)を開催 倒壊の危険性のある東本願寺熊本会館(教務所)本堂の緊急応急措置の方向性が確認され、工事に向けての仏具等の移動を行う。翌19日、熊本教務所本堂の宮殿・須弥壇、御厨子等の解体移動を行う。
5月23日	月			【熊本教区】 ●第2回現地災害救援本部会議開催(熊本教務所) 東本願寺熊本会館本堂の緊急応急措置工事の方向性について報告。救援金の第1次給付として、各組に見舞金を給付することが決定。翌24日、東本願寺熊本会館本堂の緊急応急措置工事に着工。7月9日竣工。
6月24日	金			【熊本教区】 ●熊本教務所内に「真宗大谷派(東本願寺)熊本ボランティアセンター(KVC)」を設置(6月21日付・24日から宿泊受け入れ開始)
9月26日	月		益城町の馬水西原仮設団地、安永東仮設団地及び東無田仮設団地の仮設住宅の工事が完了。馬水西原仮設団地及び東無田仮設団地については9月27日に、安永東仮設団地については、9月29日に入居開始。	【熊本教区】 ●熊本教区へ見舞金(目録)を手交 全国から寄せられた救援金の内、1億円を熊本教区へ見舞金として富田財務長より竹下教区会議長へ目録を手交。

## 各教区から災害救援本部に届けられた救援金 (2016年10月31日現在)

教区・教務所	本山受付分	教区・教務所	本山受付分
北海道教区	8,000,000	岡崎教区	5,536,212
奥羽教区	3,137,506	名古屋教区	10,570,030
山形教区	200,000	三重教区	11,302,375
東京教区	30,000	長浜教区	5,000,000
富山教区	3,000,000	京都教区	7,000,000
能登教区	3,840,384	大阪教区	5,354,220
金沢教区	3,722,530	山陽教区	4,690,763
小松教区	1,553,677	四国教区	3,566,055
大聖寺教区	1,004,621	久留米教区	857,574
福井教区	2,170,231	長崎教区	4,500,000
高山教区	1,339,661		
大垣教区	12,207,133	<b>各教区 総計</b>	<b>103,009,437</b>
岐阜教区	4,426,465	<b>寺院・別院・関係団体・個人 総計</b>	<b>16,603,146</b>

**救援金総額 119,612,583**

左記本山救援金窓口の他、熊本教区、日豊教区、久留米教区へ直接お寄せいただきました各教区からの救援金についてもお知らせいたします。

●熊本教務所受付分  
山形 500,000円・仙台 5,000,000円・東京 10,849,690円・三条 7,097,161円・高田 500,000円・高岡 2,610,615円・岡崎 500,000円・日豊 300,000円・久留米 2,000,000円・鹿児島 1,713,435円

●日豊教務所受付分  
仙台 200,000円・三条 1,000,000円・高岡 522,123円・岡崎 100,000円・久留米 500,000円

●久留米教務所受付分 仙台 100,000円

※上記に加え、寺院、別院、個人、団体等からもお寄せいただいております。厚く御礼申し上げますとともに、引き続きご協力をお願い申し上げます。



京都教区 三重教区 大垣教区

## 熊本地震により被災された方々に対し衷心よりお見舞い申し上げます。

このたびの熊本地震により、お亡くなりになられた方々に対し、謹んで哀悼の意を表しますとともに、被害を受けられました寺院・教会並びにご門徒をはじめ被災者の方々に衷心よりお見舞い申し上げます。

# 震災発生から、KVC

## 真宗大谷派(東本願寺)熊本ボランティアセンター

# 設置まで

### 各教区の被害・被災状況

熊本県熊本地方を震源とする「平成28年(2016年)熊本地震」は2016年4月14日午後9時26分頃に震度7(M6.5)の前震、16日午前1時25分にはさらに震度7(M7.3)の本震が観測され、それに続く余震が連続し、熊本県を中心に九州の広い範囲に被害が拡大した。

### 宗派の支援状況

今回甚大な被害のあった熊本教区では、益城町および熊本市内、阿蘇方面等を中心に、県内の広範囲にわたって甚大な被害が確認され、123カ寺の内、少なくとも80カ寺程に被害がおよび、熊本教務所に隣接する本堂も傾きによって立ち入り禁止となった。深刻な寺院の被害状況としては、本堂が倒壊した寺院が1カ寺、また倒壊のおそれによって本堂立入禁止となった寺院が複数カ寺、そのほか屋根瓦の落下、建物の傾き、ズレ、山門や墓石の倒壊などの被害が報告された。また、熊本教区内

4月14日夜に発生した地震後、宗派では、直ちに災害救援本部会議を開催し、被害状況の情報収集と、被災地を管轄する熊本教務所(熊本市中心区)に「現地災害救援本部」の設置、救援金口座開設などを決定。また、4月15日から7月1日までに計47名の宗務役員を派遣し、あわせて九州連区内の日豊、久留米、長崎、鹿児島教務所の職員も災害見舞及び救援物資の搬送などの支援活動を行った。



見舞金として1億円を熊本教区へお届けいたしました

あわせて、第二種共済申請事務をはじめとする事務面の援助を行うため6月13日から9月16日までの間、熊本教務所に専従職員1名を配置し、4月25日からは熊本教務所(現地災害救援本部)を窓口として、宗派寺院及び門徒等の復興支援に向けた宗派ボランティアの受け入れを開始した。

### KVCとは

熊本ボランティアセンター(以下、KVC)は、ボランティア支援を基調とし、各種ボランティアのニーズに合わせたコーディネートのお手伝いを主幹業務として取り組んでいます。また、東本願寺熊本会館(熊本教務所)を宗派ボランティアの宿泊施設として開設しております。

震災から六カ月たった今、被災された方々は、避難所生活を余儀なくされていたところから、主に仮設住宅へ生活拠点の移行がなされている現状です。このように、日々刻々と変わる情勢の中、様々なボランティアのニーズに呼応する形で、KVCでは、熊本教区教化テーマ「帰依三寶―お内仏のある生活―」を念頭に置き、如來教化なる視座より、手の合わす場を取り戻すべく、「念仏申す場の回復」を願いとして取り組んでおります。

ここ近日中の具体的な取り組みとしては、各所夏祭り・仮設住宅等での焼きそばや、かき氷などの炊き出しボランティアをはじめ、震災により出た廃棄物の搬出ならびに分別作業。墓地清掃や地震により倒れた墓石の立て直し作業(手作業で危険を伴わないもの)などの、ボランティア



被災されたお宅の荷物出し 仮設住宅へのお見舞い

A支援を行ってきました。今後のKVCの取り組みとして、教区内外より「熊本でボランティアをしたいが、何かできるか?」との声を受け、熊本教区内寺院から、各所で求められているボランティアの形を尋ねると同時に「念仏申す場の回復」を期し、心のケア・傾聴ほか、厳しい現実の中で出せない声なき声より、願われているボランティアの形を探りつつ、互いに有効となりうるボランティア支援を目指したいと考えています。

ボランティアを希望される方は、KVCまでご連絡をお願いします。

表面は「救援金勧募のポスター」になっております。寺院・教会などでぜひご活用ください。また、宗派HPにもPDFデータを掲載しておりますので、併せてご活用ください。